

第3回静岡県ミックスバドミントン大会

一般の部5月30日・シニアの部6月6日 静岡市東部体育館

一般2部 **優勝** 杉浦俊樹・杉浦美樹
 準優勝 渥美雅久・小泉絢美
 3位 渡邊智廣・加藤千尋
 3位 清水雄介・中田みゆき

一般3部 **優勝** 海野真吾・岩倉由美子
 準優勝 土屋佑介・土屋ひで美
 3位 松下明生・中島真弓
 3位 長島充洋・原崎千晴

シニアA **優勝** 野村幸央・杉ゆき江
 準優勝 松下明生・中島真弓
 3位 勝澤茂治・岩倉由美子
 3位 猿田正史・稲森修子

シニアB **優勝** 大石千利・佐藤恵子
 準優勝 小林美津男・山田幸子
 3位 小川雅彦・寺尾順子

シニアC **優勝** 木村茂・野崎裕子
 準優勝 小関新也・宮川恵美子
 3位 木村清志・霞和子



一般2部優勝



一般3部優勝



第38回静岡県社会人バドミントン選手権大会兼国体選手第一次選考会

兼 第75回国民体育大会第一次予選会兼 2021年度東海総合選手権一般の部選手選考会

男子ダブルス **優勝** 細田慎二・河野大地
 準優勝 田代颯・園山拓未
 3位 岸野嵩志・小西泰世

男子シングルス **優勝** 小西泰世 準優勝 岸野嵩志 3位 栗佑貴



ジャコ選手皆さんの写真

第39回全日本レディースバドミントン選手権大会団体戦(クラブ対抗の部)静岡県予選

令和3年4月10日(土) 静岡市北部体育館

優勝 プリマドンナ 準優勝 ステラピアンカ 三位 ウィッシュ

第9回静岡県レディースバドミントン連盟トリプル競技大会

令和3年6月26日(土) エコパサブアリーナ

Aブロック **優勝** 宮本智子・小泉香奈子・松下咲子(グレイス)

準優勝 川鶴愛矢子・石井糸美・山田瑠花(フェアリーズ)
 三位 山本晴世・杉ゆき江・近江明美(スルガウィングス)

Bブロック **優勝** 飯田綾乃・杉山美奈・望月悦子(清水さつき)

準優勝 田代直美・吉川容子・若林律子(ポトク)
 三位 長田美香・山下由理・中村陽子(マリーノA)



Aブロック優勝者



Bブロック優勝者

第59回静岡学生バドミントン選手権大会春季リーグ

男子1部 **優勝** 静岡大学A
 準優勝 日本大学A
 3位 浜松医科大A

男子2部 **優勝** 浜松医科大B
 準優勝 静岡大浜松B
 3位 日本大学B

男子3部 **優勝** 静岡大浜松C
 準優勝 浜松医科大C
 3位 静岡産業A

女子1部 **優勝** 静岡大学A
 準優勝 浜松医科大A
 3位 日本大学A

女子2部 **優勝** 浜松医科大C
 準優勝 静岡大学B
 3位 浜松医科大D



優勝の皆さん



優勝の皆さん

6月12日を待ちまして第59回静岡学生バドミントン選手権大会春季リーグの全日程が終了いたしました。コロナ禍での開催となったため、全体温表を提出し体調不良者がいないことを確認し現在まで体調不良者の報告はありません。

男子ダブルス **優勝** 野鶴久晴・遠藤友峻(富士見)

準優勝 佐野覚斗・塩川好輝(星陵) 3位 小澤勇斗・井出祐次郎(富士見)

男子シングル **優勝** 佐野覚斗(星陵)

準優勝 鈴木翔琉(星陵) 3位 勝又夢斗(加藤学園)

【男子ダブルス】

やっと、やっと…優勝することができました。私は小3でバドミントンを始めてから、「惜しかった」と言われ続けてきました。高校こそはという思いで富士見に入学したものの、今回一番可能性を感じていた先週の学校対抗戦で、チームをひどい内容で負けさせてしまいました。競技者としても部長としても、この一週間は切り替えや立て直しが難しく、正直なところダブルスに関しては、練習で取り組んできたタッチ位置と体捌きの速さ、テンポのコントロールを意識してコートにいただけで、無欲で臨んでいました。だから、最後のポイントが入った瞬間にも実感が湧かず、表彰で優勝カップを受け取ったときのずっしりとした重みで、ようやく優勝の味を噛みしめることができました。今回の優勝は、ずっと諦めず的確な努力をして試合で発揮できたこと、そして家族や顧問の先生、部員など周囲からの支えがあったからだと思います。富山インターハイでは、ここからの練習の成果と周囲の支えに対する感謝の気持ちをプレーで表現したいと考えています。

野鶴久晴 富士見高校

私は東部予選終了直後に脚を怪我してしまい、症状もひどかったことから県大会の出場も危ない状態でした。しかし、3年生とペアを組ませてもらっていることで、棄権で最後の大会を終わらせてしまうわけにはいかないという思いでいっぱいでした。そのため、学校対抗戦は信頼できるチームメイトたちに任せて、ダブルスの日に向けて調整を続けてきました。試合2日前までゲーム練習に入れる状態にならず、焦りと不安がありましたが、顧問の先生のアドバイスや協力してくださったトレーナーの先生、そして僕を待っていてくれた先輩を信じて過ごせたことが今回の結果につながりました。今回の結果は自分の優勝ということよりも、先輩を優勝させることができたという安堵の方が強い感じです。今後は自分たちの学年が引っ張っていく立場になるので、自分たちを優勝させる努力と優勝させたいと思ってもらえるチーム作りを心がけていきたいです。

遠藤友峻 富士見高校

【男子シングルス】 星陵高校バドミントン部部長の佐野覚斗です。

今大会は私も高校3年生として最後の大会ということで、個人でも優勝を目指して頑張ってきました。ダブルスでは残念ながら2位という結果に終わってしまい、悔しい思いをしたので、シングルスで優勝できたことは本当にうれしかったです。前回の新人戦に引き続き無観客試合となった大会でしたが、試合をすることができることに感謝をし、頑張りました。その結果これまで自分が積み重ねてきた練習の成果を発揮することができました。

今回私が優勝できたのは、顧問の先生、自分をずっと支えてくれた両親、一緒につらい練習を乗り越えてきた仲間など、沢山の支えがあってからこそできたものだと思います。多くの人たちの期待に応えるためにもこの結果に満足することなく、これから先のインターハイで自分の目標であるベスト8という目標を達成できるように練習に励んでいきたいです。インターハイでは自分の力を100%発揮できるようにしっかりと戦ってきたいと思っています。応援よろしくお願いたします。

女子ダブルス **優勝** 平岡萌・平岡遥(伊東)

準優勝 鈴木あかり・下谷祐香(常葉大菊川) 3位 中島有香理・竹田冬羽(藤枝西)

女子シングル **優勝** 内田真緒(星陵)

準優勝 荒井茉奈加(星陵) 3位 高橋理帆(星陵)

【女子ダブルス】

今回の女子ダブルスでは、目標としていた優勝をすることができました。1ゲームという短い試合の中で、自分たちが持っている力を全て出し切るために、協力して楽しく試合をすることを意識して臨みました。今までは双子ということもあり、あまりコミュニケーションをとってきませんでしたが、今回の試合では、同じ目標に向かって声を掛け合い、一本一本集中しました。試合に向けて、自分たちの弱点であったレシーブの強化をするために、普段指導していただいている顧問の先生や、コーチの方々が練習メニューを組んで、相手をしてくださいました。その成果を本番の試合で発揮でき、自信を持ってレシーブから攻めへ展開することができました。試合で勝った瞬間は、実感がなく、あまり喜びを表現できませんでしたが、表彰式で優勝カップを手にした時、喜びが込み上げてきたと同時に、ここまで支えてくれた方々への感謝の気持ちがわき、結果で恩返しできて良かったなと思いました。

まだまだ力不足な面がたくさんあるので、インターハイに向けて、今まで以上にレベルアップできるように日々の練習に力を入れていきます。そして、ただインターハイに出場するだけでなく、次につなげられるよう、一生懸命頑張ります。また、来年に向けて力をつけるために、今回の経験を大切にし、普段指導してくれたり、支えてくれたりする方々への感謝を忘れず、自分たちができることを全て出して全力で戦ってきます。応援よろしくお願いたします。

静岡県立伊東高等学校 平岡萌・平岡遥

【シングルス】

星陵高校バドミントン部の内田真緒です。女子シングルスにおいて、団体戦と同様に全国の舞台への権利を掴み取ることができました。この優勝を勝ち取ることを目標の1つとし、絶対に譲れないという思いで最後まで戦いました。今回の試合は特にたくさんの人の努力で成り立っているうえに、私は両親を始め本当はたくさんの方の支えのもとにバドミントンをやることができている、今回の試合前も試合後もいろいろな方に声をかけていただき私は本当に幸せだと思います。シングルの前日に行われたダブルスではベスト8で終わってしまい、とても悔しい思いをしたので、団体戦のダブルスでは勝つことが出来るようにもう一度練習に取り組み、個人戦ではダブルスの分までシングルスに賭けて戦いたいと思います。まだここは最後の目標ではなく通過点だと思い、一度きりのインターハイ全国大会に向け私を支えて下さる方々へしっかり感謝の気持ちを持ち続け、最後まで戦い抜けるようにこれからも精進していきます。